

大和証券グループ本社

Daiwa Securities Group Inc.

株主・投資家の  
皆さまへ

第 80 期 通期

大和証券グループ  
ビジネスレポート  
2016年4月1日～2017年3月31日

## CEOからのごあいさつ 株主の皆さまへ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、執行役社長 CEOに就任した中田誠司でございます。

当社グループにとって、今年度は創業115周年の節目の年であり、3ヵ年の中期経営計画(以下、「中計」)“Passion for the Best”2017の最終年度となります。これまで築いてきた、大和独自の企業カルチャー・DNAとマーケット環境に左右されにくい「強靱な経営基盤」の双方を更に進化させ、より一層完成度の高い、「お客様に最も選ばれる総合証券グループ」を目指してまいります。

### Contents

CEOからのごあいさつ	01
財務関連情報	05
主要セグメント別の概況	07
トピックス	08
株主さまアンケート集計結果	11
市場環境	12
会社概要／株式・株価の情報	13
大和証券 国内サービス網	14

株式会社大和証券グループ本社  
執行役社長 CEO

中田 誠司

## 2016年度の事業環境

2016年度の国内株式相場は、世界経済の減速懸念、円高の進行に加え、英国のEU離脱(Brexit)問題を背景に、株価が乱高下する局面があり、個人投資家のリスク回避傾向が継続しました。11月に米国大統領選挙でドナルド・トランプ氏が勝利して以降は、インフラ投資拡大や規制緩和を通じた経済政策への期待感から、世界的な株高・ドル高が進行したことに加え、米国の株価上昇も国内株式市場に追い風となり、年度末にかけ株価は堅調に推移しました。

このような環境下、通期の連結純営業収益は、4,727億円、連結経常利益は1,356億円、最終利益を示す親会社株主に帰属する純利益は1,040億円となりました。

事業部門別で見ますと(下図)、ホールセール部門(棒グラフ青)の債券トレーディングが好調で、個人投資家のアクティビティ低下を背景としたリテール部門(棒グラフ赤)の落ち込みをカバーするといった、利益の構成となっております。

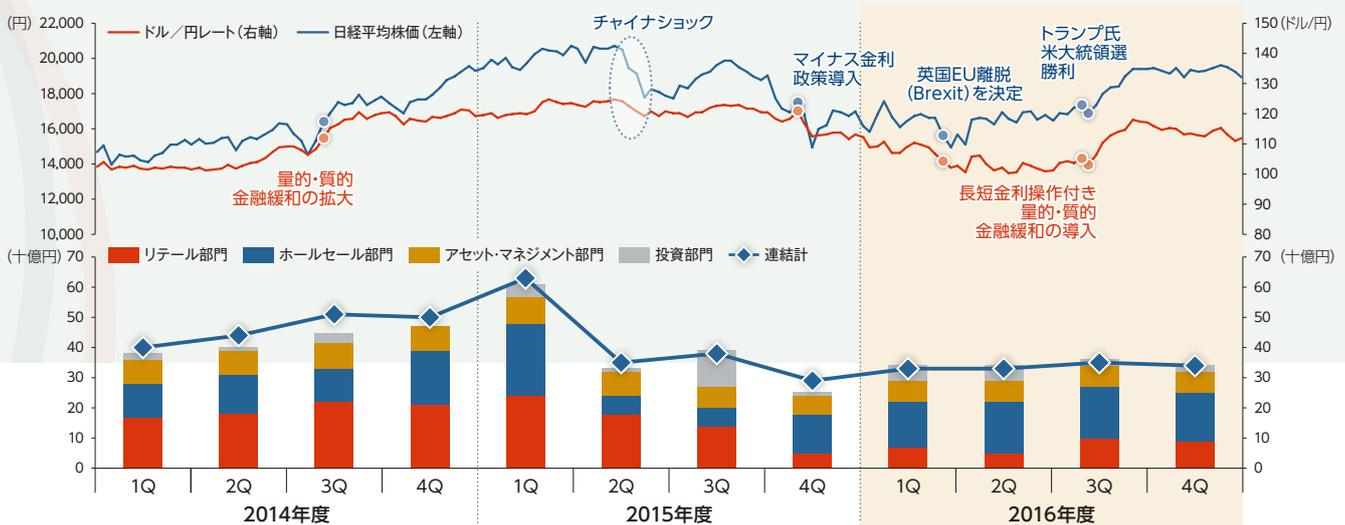
ここ数年間、グループ全体としてバランスの取れた収益構造の構築に取り組んでまいりましたが、リテール部門が厳しい時には、ホールセール部門が支え、ホールセール部門が厳しい時には、リテール部門が収益をカバーすることによって、かなり安定した利益水準を恒常的に維持できるようになったことは、大きな成果であると言えます。

海外部門では、これまでの収支改善に向けた取組みに加え、海外アライアンス先との提携による成果もあり、7年ぶりに通期黒字を達成し、グループ連結利

### ■ 株式・為替市場と業績の推移

#### 激変するビジネス環境の中、 バランスの取れた収益構造により、安定した利益水準を維持

日経平均株価、ドル/円レート(上段)、セグメント別経常利益(下段)



(出所) Bloomberg

益に貢献しております。地域別では、米州が年度を通じて債券部門が好調であったほか、欧州では、M&A子会社であるDCアドバイザリーの収益が大幅に拡大しました。アジア・オセアニアは、コスト削減やアジア・プライベート・バンキングの拡大が収益に貢献しました。

配当については1株あたり26円(中間配当13円、期末配当13円)といたしました。また、株主の皆さまへの更なる利益還元として、2017年1月30日開催の取締役会において、株式総数2,700万株(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合1.59%)および取得価額総額200億円を上限とする自己株式の取得枠について決議し、2017年4月21日までに、株式総数2,700万株を取得しております(取得総額189.9億円)。

## 中期経営計画

### “Passion for the Best”2017の進捗

現中計では、「本格化する“貯蓄から投資の時代”の中で、業界トップのクオリティによりお客様を惹き付け、ベストパートナーとなる」ことをスローガンに掲げています。

そして、その達成に向けて「貯蓄から投資の時代をリードする投資サービスの提供」と、「企業価値向上に資するソリューションの提供」を通じて、「貯蓄から投資と企業価値向上の好循環」の実現に向け、様々な取り組みを実施しております。

中計の数値目標については、昨年度のROEは8.4%、固定費カバー率は66%と、それぞれ目標を下回る水準となりましたが、中計最終年度における目標

#### ■ 2017年度取組みテーマ

いよいよ転換点を迎える「貯蓄から投資」の中で、  
お客様に最も選ばれるベストパートナーとなる

## “クオリティNo.1”に向けた取組みを進化

### 徹底的なお客様目線での業務運営

#### ナレッジ

専門性の高い知識

#### スキル・テクニック

お客様へのベストソリューション

#### マインド

お客様第一、コンプライアンス  
チャレンジする高い志

### 大和証券グループの企業理念

信頼の構築

人材の重視

社会への貢献

健全な利益の確保

の変更は行わず、グループ一丸となって、数値目標の達成を目指してまいります。

## 2017年度経営方針

2017年度は、「お客様に最も選ばれる総合証券グループ」の実現に向け、“クオリティNo.1の確立”への取り組みを更に進化させてまいります。

内外の諸情勢に鑑みると、わが国において20年近く続いたデフレがいよいよ転換点を迎え、「貯蓄から投資」へのマネーシフトに追い風が吹く期待が高まっています。また、米国大統領の交代を機に、世界経済が大きく変化する局面を迎える中、多くのお客様がプロフェッショナルのアドバイスを求めています。

それ故に、当社グループの役職員一人ひとりが、

専門性の高い金融知識を自ら学ぶ“ナレッジ”、そのナレッジを使いお客様へのベストソリューションを創り上げる“テクニック”、そしてお客様を第一に考える“マインド”を徹底的に磨きあげることが、お客様のベストパートナーを目指すうえで、欠かせないと考えております。

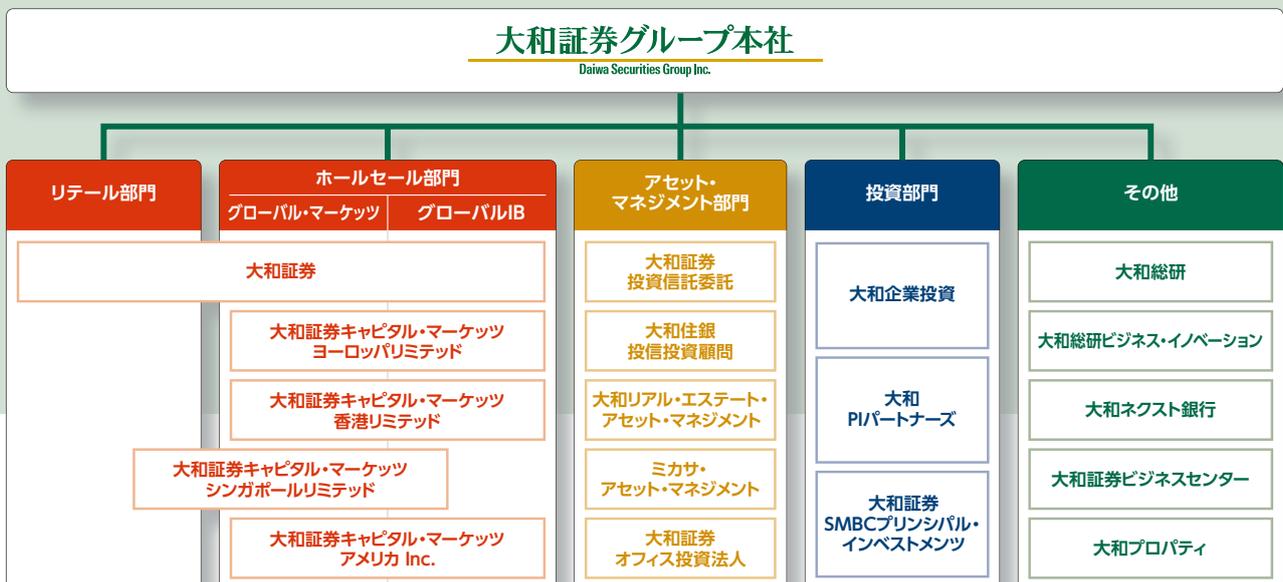
当社グループは、これらの取組みを通じて、誠実さと高い専門能力を兼ね揃えたクオリティNo.1を確立し、「お客様に最も選ばれる総合証券グループ」として「貯蓄から投資」の流れをリードし、豊かな国民生活と日本の成長戦略に貢献してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後もなお一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

2017年 6月

株式会社大和証券グループ本社  
執行役社長 CEO  
中田 誠司

### ■ 大和証券グループの主要会社構成 (2017年4月1日現在)



# 財務関連情報

## 連結財務諸表(要約)

科目	第79期 (2016年3月31日現在)	第80期 (2017年3月31日現在)	前期比 (増減)	科目	第79期 (2016年3月31日現在)	第80期 (2017年3月31日現在)	前期比 (増減)
<b>【資産の部】</b>				<b>【負債の部】</b>			
流動資産計	19,851,563	19,258,940	△ 592,622	流動負債計	16,827,865	16,007,868	△ 819,997
現金・預金	3,334,784	3,828,674	493,890	トレーディング商品	5,300,861	4,658,595	△ 642,266
有価証券	2,091,090	1,742,127	△ 348,962	有価証券担保借入金	5,901,794	6,018,813	117,018
トレーディング商品	7,501,242	6,546,229	△ 955,013	銀行業における預金	2,928,630	2,985,733	57,103
営業投資有価証券	127,210	125,040	△ 2,170	固定負債計	2,275,976	2,472,065	196,088
投資損失引当金	△ 11,053	△ 11,052	0	負債合計	19,107,812	18,483,863	△ 623,949
有価証券担保貸付金	5,250,135	5,305,518	55,382	<b>【純資産の部】</b>			
固定資産計	569,255	568,356	△ 898	株主資本	1,133,257	1,183,636	50,379
有形固定資産	124,562	124,980	417	その他の包括利益累計額	86,574	67,254	△ 19,320
無形固定資産	84,879	90,596	5,716	非支配株主持分	84,214	83,813	△ 401
投資その他の資産	359,812	352,779	△ 7,033	純資産合計	1,313,005	1,343,433	30,427
資産合計	20,420,818	19,827,296	△ 593,521	負債・純資産合計	20,420,818	19,827,296	△ 593,521

科目	第79期 (自2015年4月1日 至2016年3月31日)	第80期 (自2016年4月1日 至2017年3月31日)	前期比 (増減率%)
営業収益	653,711	616,497	△ 5.7
受入手数料	288,418	273,335	△ 5.2
トレーディング損益	131,324	128,120	△ 2.4
営業投資有価証券関連損益	18,502	14,846	△ 19.8
金融収益	149,451	143,241	△ 4.2
その他の営業収益	66,014	56,953	△ 13.7
金融費用	89,530	98,725	10.3
その他の営業費用	49,366	45,022	△ 8.8
純営業収益	514,815	472,750	△ 8.2
販売費・一般管理費	364,517	353,687	△ 3.0
営業利益	150,297	119,062	△ 20.8
経常利益	165,148	135,623	△ 17.9
親会社株主に帰属する当期純利益	116,848	104,067	△ 10.9

科目	第79期 (自2015年4月1日 至2016年3月31日)	第80期 (自2016年4月1日 至2017年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	221,746	44,543
投資活動によるキャッシュ・フロー	415,647	307,713
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 229,727	143,231
現金及び現金同等物の期末残高	3,273,640	3,766,145

### ■ 連結損益計算書の分析

2016年度の営業収益は前年度比5.7%減の6,164億円、純営業収益は同8.2%減の4,727億円となりました。

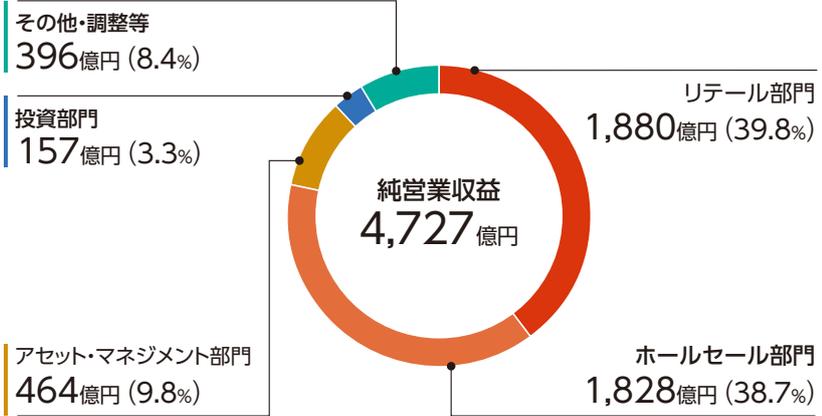
受入手数料は2,733億円と、同5.2%の減収となりました。委託手数料は、株式取引が減少したことから、同13.3%減の609億円となりました。一方、引受業務では、引受け案件が増加したことにより、引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料は、同4.1%増の297億円となりました。トレーディング損益は、市場環境の悪化により顧客フローが減少したこと等から同2.4%減の1,281億円となりました。

販売費・一般管理費は同3.0%減の3,536億円になりました。大和投資信託の株式投信残高が減少したことによる販売会社等への支払手数料減少等により、取引関係費は同3.6%

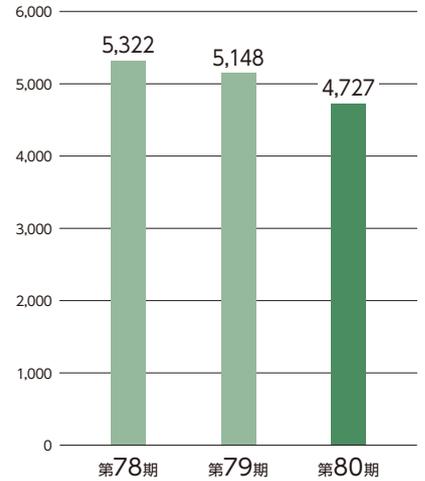
減の697億円、人件費は業績に連動する賞与の減少等により同4.1%減の1,758億円、備品費等を含む不動産関係費は同5.6%減の352億円となっております。一方、租税公課は外形標準課税の税率上昇により同18.5%増の105億円となっております。以上より、経常利益は同17.9%減の1,356億円となりました。

また、投資有価証券売却益等の計上により特別利益が173億円、MMF等償還関連費用や訴訟損失引当金繰入額等の計上により特別損失が139億円となり、法人税等および非支配株主に帰属する当期純利益を差し引いた結果、親会社株主に帰属する当期純利益は同10.9%減の1,040億円となりました。

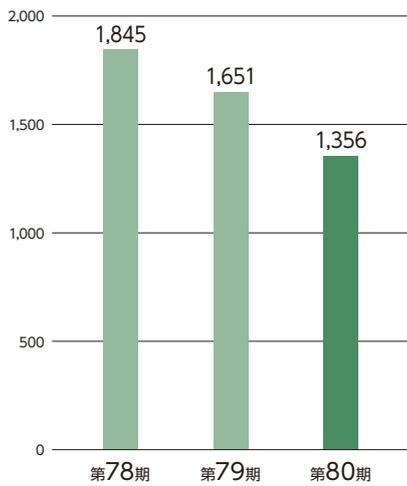
第80期 純営業収益の内訳



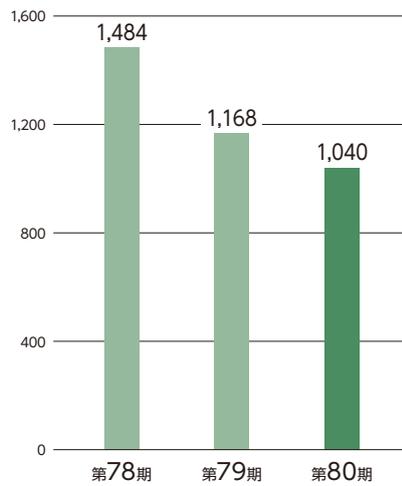
純営業収益 (単位:億円)



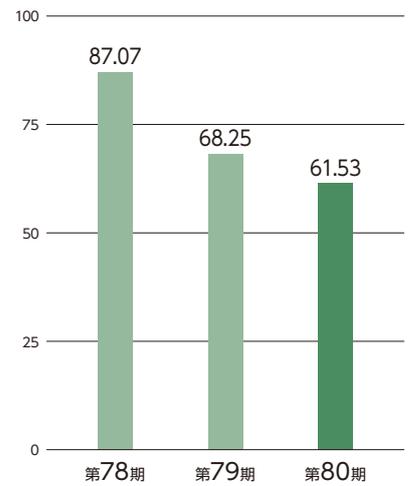
経常利益 (単位:億円)



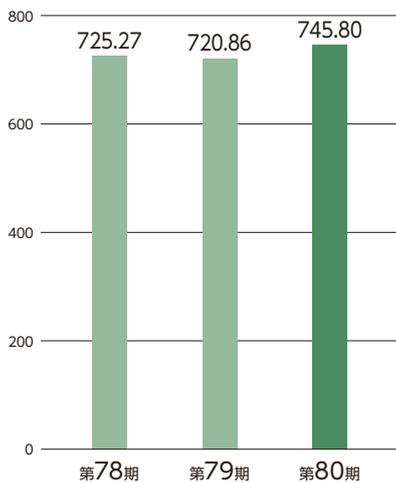
親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:億円)



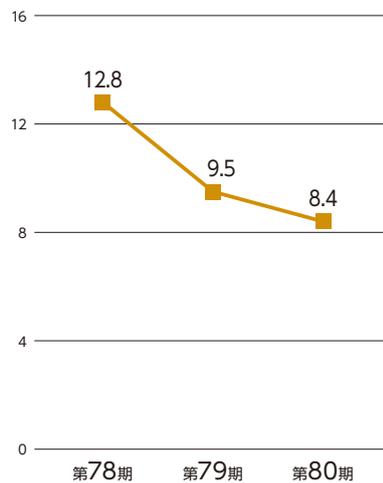
1株当たり当期純利益 (単位:円)



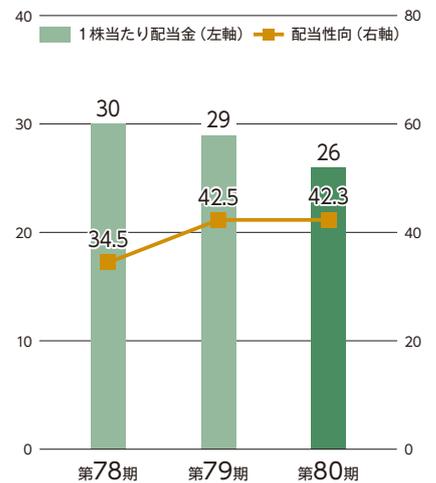
1株当たり純資産 (単位:円)



ROE (単位:%)



1株当たり配当金/配当性向 (単位:円/%)



# 主要セグメント別の概況

## リテール部門

純営業収益  
1,880億円 (前期比 △13.7%)

経常利益  
293億円 (前期比 △51.9%)

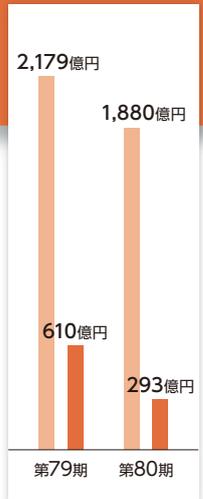


### 部門概要

リテール部門は、日本全国の個人を中心とするお客さまの資産運用ニーズにお応えし、家計と資本市場をつなぐことで、国民財産の形成と資本市場への資金供給に貢献する役割を担っています。全国に広がる店舗網と、充実したインターネットインフラにより、国内外の株式や債券、投資信託に加え、ラップ口座サービスや年金保険など、さまざまな金融商品・サービスを取り揃えています。

### 業績概況

米国大統領選以降、市場環境が好転したこともあり、株式取引や株式投資信託の販売額が増加したものの、活況な株式相場であった前年に比べると減収減益となり、純営業収益は1,880億円、経常利益は293億円となりました。



## ホールセール部門

純営業収益  
1,828億円 (前期比 +2.7%)

経常利益  
654億円 (前期比 +33.9%)

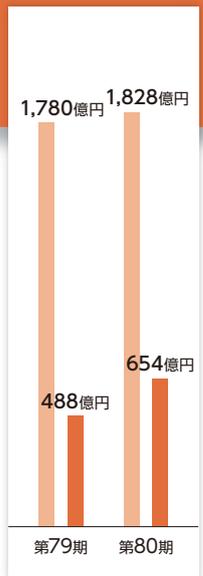


### 部門概要

ホールセール部門は、グローバル・マーケット、グローバル・インベストメント・バンキングで構成され、国内外の企業の経済活動を資金調達、資金運用の両面から支援する役割を担っています。グローバル・マーケットにおいては、機関投資家を中心とするお客さまを対象に有価証券(株式・債券、その他金融商品)のセールスおよびトレーディング業務を行なっています。また、グローバル・インベストメント・バンキングにおいては、事業法人、金融法人などのお客さまが発行する有価証券の引受けやM&Aのアドバイザーなどの投資銀行業務を行なっています。

### 業績概況

債券トレーディング収益が堅調に推移したことに加え、M&Aアドバイザー業務など、投資銀行業務収益が前年に比べ増加したことから、純営業収益は1,828億円、経常利益は654億円となりました。



## アセット・マネジメント部門

純営業収益  
464億円 (前期比 △8.1%)

経常利益  
265億円 (前期比 △11.4%)

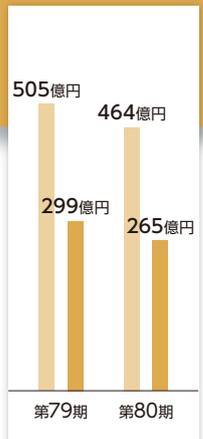


### 部門概要

アセット・マネジメント部門では、運用の専門家として、投資家本人に代わって運用を行う運用受託業務および運用の助言業務を行なっています。個人を中心とするお客さまのニーズに応える投資信託の設定・運用、機関投資家を中心とするお客さまに対する投資顧問のほか、不動産投資信託の運営・運用を通じて、国民財産の形成を支援する役割を担っています。

### 業績概況

運用資産残高は期末にかけて増加しているものの、公募株式投資信託や公募公社債投資信託の期間平均残高が減少したことなどにより、純営業収益は464億円、経常利益は265億円となりました。





## 個人投資家向け会社説明会を開催

当社は、2016年度に個人投資家向け会社説明会を5カ店において開催しました。そのうち、2017年3月6日に本店で開催した個人投資家向け説明会(大和インベスター・リレーションズ主催)においては、IR担当役員より当社グループの概要や業績についてご説明しました。当日の様子は同社のサービスe-CAST(動画配信)で

ご覧いただけます。

また、2016年9月21日と2017年3月15日にはインターネットライブセミナーを実施し、合計約2,000名の方にご視聴いただきました。今後もさまざまな説明会を開催するとともに、株主・投資家の皆さまとのコミュニケーションの更なる充実を図っていきます。

### ■ 2016年度個人投資家向け会社説明会 開催実績

大和証券  
営業店における開催

参加者数  
約**600**名

5カ店  
(本店および高松・所沢・  
静岡・横浜駅西口支店)

インターネット  
ライブセミナー

視聴者数  
約**2,000**名

2回  
(2016年9月  
2017年3月)



プレゼンテーション資料(PDF)はこちら

<http://www.daiwa-grp.jp/ir/presentation/index.html>

## 大和証券グループの入社式を開催

2017年4月3日、入社式を開催し総勢678名が新たに当社グループの一員となりました。新入社員に向け、大和証券グループ本社執行役社長 中田 誠司が、次のメッセージを送りました。



証券会社の社会的使命は、証券市場を通じて、経済の発展、豊かな社会作りに貢献していくことである。大和証券グループという組織は、我が国の証券市場をリードすると共に、証券市場を通じ日本及び世界経済に貢献するという、非常に大きな社会的使命を担っているという誇りを持って毎日の業務に取り組んでほしい。2015年度からスタートした中期経営計画の基本方針である「本格化する“貯蓄から投資の時代”の中で、業界トップのクオリティによりお客様を惹き付け、ベストパートナーとなる」ことの実現に向け、グループの総力を結集して更なる成長戦略を推し進める。入社する皆さんの成長と活躍に大いに期待する。



週刊東洋経済  
「就職人気ランキング」

就職人気ランキングで過去最高を更新

2018年卒・前半  
総合順位 **6**位 (男子 1位)

# トピックス



国内最大級のIRコンファレンス

## 「Daiwa Investment Conference Tokyo 2017」を開催



オープニング・リマークスの様子



大和証券グループ本社  
取締役会長(当時は執行役社長)  
日比野 隆司によるオープニング・  
リマークス



大和総研 理事長  
武藤 敏郎による特別講演

「Daiwa Investment Conference Tokyo 2017」は、今年で11回目を迎え、2月27日～3月3日の5日間にわたり、ザ・プリンス パークタワー東京(東京・港区)において開催されました。

今回は、過去最多となる約1,000名の投資家、国内トップ企業408社、海外企業53社の計461社の参加となりました。国内最大級のIRコンファレンスとして確固たる地位を築いており、グローバル投資家や参加企業から幅広く認識されています。

当コンファレンスは、大和証券グループ本社 取締役会長(当時は執行役社長)日比野 隆司によるオープニング・リマークスで開幕し、大和総研 理事長 武藤 敏郎



大和証券グループ本社  
執行役社長(当時は執行役副社長)  
中田 誠司による  
ウェルカムレセプションでの挨拶

による特別講演も開催されました。開催期間中は数多くの投資家・企業ミーティングが設定され、国内最大にふさわしい評価を投資家・参加企業の双方から得ることができました。

CLOSE UP!

### はじまりました。 ダイワの 新サービス

スマートフォンやタブレットが身近となり、IT技術はますます進化を遂げ、最近では人工知能(AI)に関するニュースも多く耳にするようになりました。こうした中、当社グループは資産形成層を含む幅広い投資家層からより選ばれるために、最適な商品・快適な情報アクセスを提供するプラットフォームの構築に取り組んでいます。

ここでは、インバウンドチャネル強化の一環として注力する2つの新サービスについてご紹介します。

サービス 1  
1月27日～



ダイワ ファンドラップ  
ONLINE

ファンドラップサービスの  
新しい仲間

1月27日よりインターネット経由で少額から始められる「ダイワファンドラップ オンライン」のサービスを開始。ロボ・アドバイザー機能の活用により、お客さま一人ひとりの将来設計の実現をサポートする新しいカタチの資産運用サービスです。

ロボ・アドバイザーとは?

一般的にパソコンやスマートフォンを通じて、  
資産運用に関するアドバイスなどを行う金融サービスの総称です。

サービス 2  
4月3日～

ダイワの iDeCo

個人型確定拠出年金  
の新プラン

改正確定拠出年金法の施行により、1月から加入対象者が大きく広がった「iDeCo」。大和証券はSBIベネフィット・システムズをパートナーとして、新たなiDeCoプランの取り扱いを4月から開始。両社がタッグを組むことで、“お客さまから選ばれるiDeCo”の実現を目指します。



多様な働き方を支援

# 当社グループの取り組みが高評価

2016年度において、当社は、経済産業省と東京証券取引所が共同で主催する「なでしこ銘柄」、「健康経営銘柄2017」に、3年連続で選定されました。また、大和証券株式会社は、「イクメン企業アワード2016 特別奨励賞」に初選定されました。

当社グループは、社員の健康管理や女性社員の活躍推進をリードする企業のひとつとして、今後も多様な価値観を持つ人材が能力を最大限に発揮できる環境整備をさらに加速し、お客さまへのより一層のサービス水準の向上に努めてまいります。

「なでしこ銘柄」  
3年連続で選定



経済産業省・東京証券取引所

「健康経営銘柄」  
3年連続で選定



経済産業省・東京証券取引所

「イクメン企業アワード2016  
特別奨励賞」初選定



IKUMEN AWARD 2016  
厚生労働省

「プラチナくるみん認定」  
取得



厚生労働省

## その他の主な外部評価

- 平成28年度  
「女性が輝く先進企業表彰」  
内閣府特命担当大臣(男女共同参画)表彰
  - 平成28年度  
「均等・両立推進企業表彰」  
ファミリー・フレンドリー企業部門  
厚生労働大臣優良賞
  - 「がん対策推進企業表彰」  
厚生大臣賞
- など



## 第11回 東京マラソン2017

ランナーと応援者が情熱でひとつになる

当社が昨年よりオフィシャルパートナーとして協賛する「東京マラソン2017」が2月26日に開催されました。今年は「東京の素晴らしさを内外にアピールする」と共に、「記録をねらえる高速コース」の視点からコースが変更され、約3万6千人のランナーが東京駅前・行幸通りのフィニッシュを目指しました。また当社は、10万人以上のランナー等が訪れる日本最大のランニングのトレードショー「東京マラソンEXPO 2017」に初めてブースを出展しました。今後も「健康」に関する様々なプロジェクトに積極的に取り組み、役職員一丸となって盛り上げてまいります。

東京マラソン  
EXPO 2017  
に初出展



EXPO会場の当社展示ブース

### Point ①

#### PC・スマートフォン・タブレットで 始める50万円からの国際分散投資

- インターネット完結のサービス
- 大和証券ホームページにある、3つの診断メニュー（無料）を通じてお客さまにぴったりの資産運用をご提案

### Point ②

#### サービス開始後は 自動運用におまかせ

- 最適な資産配分を維持するために継続的な運用のメンテナンスを実施
- お客さまご自身で個別の銘柄の基準価額をチェックしたり、タイミングを考えて売買を行なう必要はありません

### Point ③

#### 運用状況の確認や 見直しもネットで簡単

- 資産運用を見直す必要が生じた際に運用スタイルの見直しや増額・減額など契約内容の変更のお手続きも、すべてインターネットを通じて行なうことが可能

「ダイワファンドラップ オンライン」の詳細および無料診断はインターネットで! ▶▶▶

ダイワファンドラップ オンライン

### Point ①

#### 魅力的な手数料体系

- 「ダイワのiDeCo」では、残高が50万円以上の場合、運営管理機関(当社)にお支払いいただく毎月の手数料が無料\*
- さらに2018年3月末までに受付を完了された方はどなたでも、初期手数料を含めて当社にお支払いいただく運営管理機関手数料が1年分無料\*になる、キャンペーンを実施中

### Point ②

#### ダイワならではの商品ラインアップ

- 「初心者から投資経験者まで、幅広いニーズにお応えする商品ラインアップ」をコンセプトに、国内外の株式ファンド・債券ファンド(信託報酬が低水準のインデックスファンドを含む)から、バランス型ファンドや不動産投資信託、定期預金を用意

### Point ③

#### 分かりやすい動画コンテンツ

- 「いつでも」「どこでも」「だれでも」をコンセプトに、Web動画でお客さまの資産運用をサポート



「ダイワのiDeCo」の詳細および動画コンテンツはホームページで! ▶▶▶

ダイワ イデコ

\*運営管理機関手数料の他、国民年金基金連合会や事務委託金融機関(信託銀行)の手数料が別途かかります。

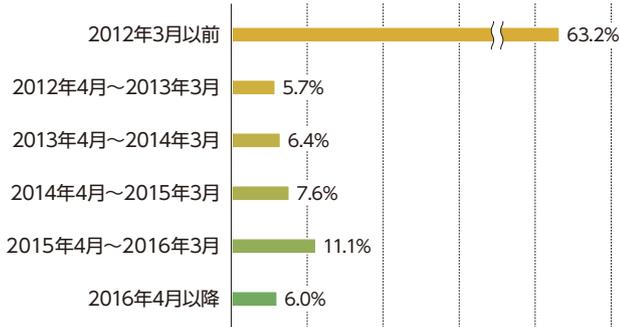
# 株主さまアンケート集計結果

2016年9月末株主優待にご応募いただいた105,203名の株主さまに対して、アンケートを実施しました。

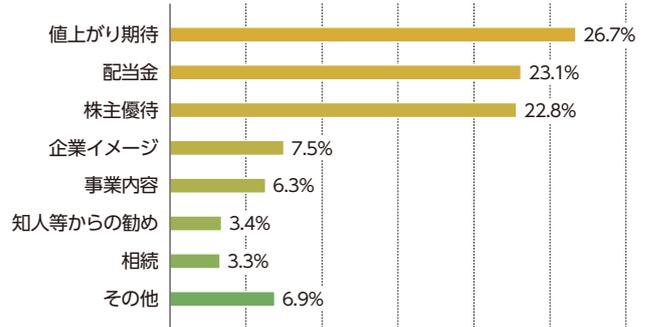
その結果、96,128名の方からご回答いただきました(回答率約91.3%)。皆さまのご協力に厚く御礼申し上げます。

今後もこうした機会を利用し、いただいたお声をもとに当社のIR活動の拡充を図るとともに、より充実した株式優待の展開にもつなげていきたいと考えております。

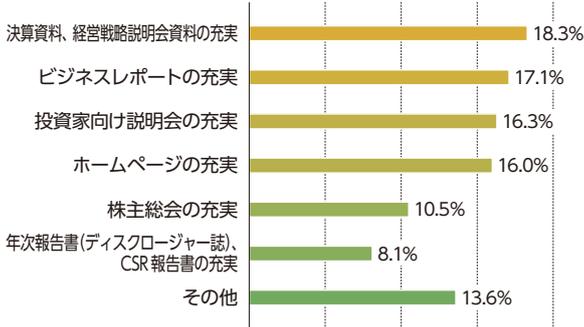
## ① 当社株式を最初に保有した時期



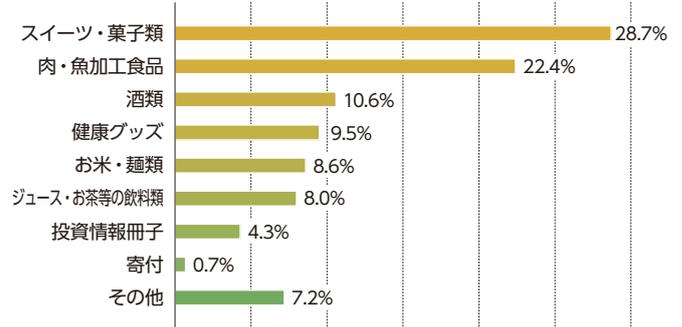
## ② 当社株式を取得した理由 (複数回答可)



## ③ 今後の拡充を望む情報開示やコミュニケーション活動 (複数回答可)



## ④ 次回の株主優待で拡充して欲しい商品 (複数回答可)



## 株主優待のお申込み、議決権行使は Webでも受け付けております!



従来のハガキによるお申込みに加え、2016年9月末株主優待よりWebからのお申込みも開始しました。専用サイト「株主優待お申込みサイト」を開設し、株主の皆さまのお申込みをお待ちしております。なお、お申込み方法は株主優待お申込み案内用紙をご覧ください。

株主優待 お申込みサイト

<https://www.daiwa-grp-yutai.jp/>



お申込み締切日

2017年7月31日(月)

※お申込み済みの株主さまは、ログインしていただきますと株主様マイページでお申込み内容の確認が出来ます。

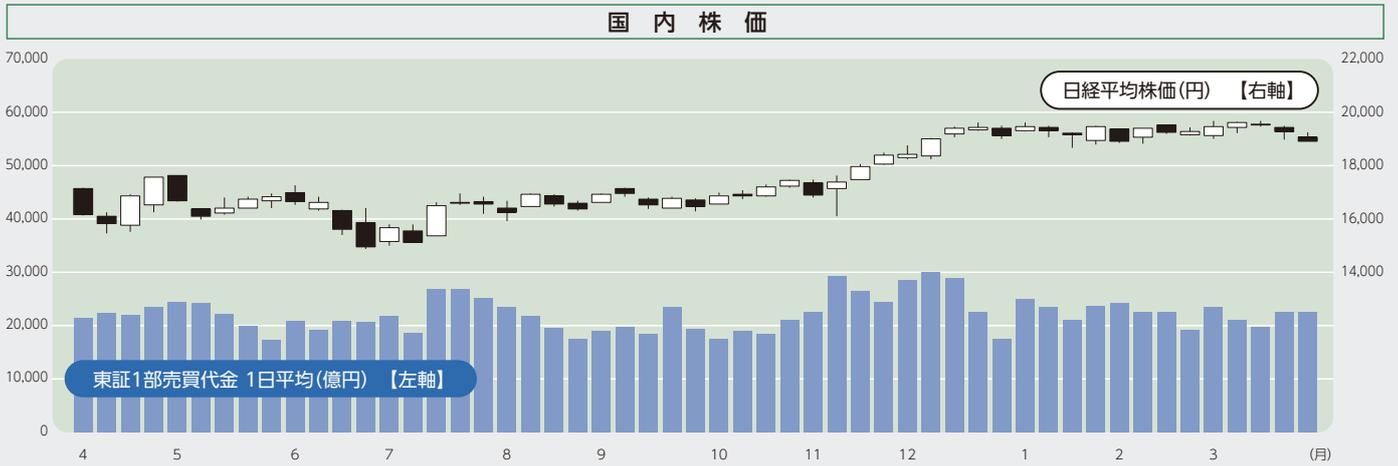
### 議決権行使もWebから

2017年6月27日(火)  
17:00までのご投票

インターネットによる議決権行使には、定時株主総会招集ご通知に同封の議決権行使書に記載の「議決権行使コード」および「パスワード」が必要となります。  
株主様マイページから、「議決権行使ウェブサイト」へ簡単にアクセス可能です。

# 市場環境

- 当期の国内株式市場は、前半はBrexitへの警戒感の高まりなどを背景に軟調に推移していましたが、11月の米国大統領選でのトランプ氏勝利による政策期待やOPECの原油減産合意、FRBの利上げ決定などによる円安を背景に上昇基調となりました。
- 2017年に入るとトランプ大統領の減税発言や米早期利上げ観測から上昇しましたが、英国のEU撤退表明や米政権の政策運営の不透明感から下落しました。
- 当期末の日経平均株価は18,909.26円、TOPIXは1512.60ptとなりました。



※2016年4月～2017年3月 週次データ 出所：東京証券取引所、Bloomberg

# 会社概要 / 株式・株価の情報

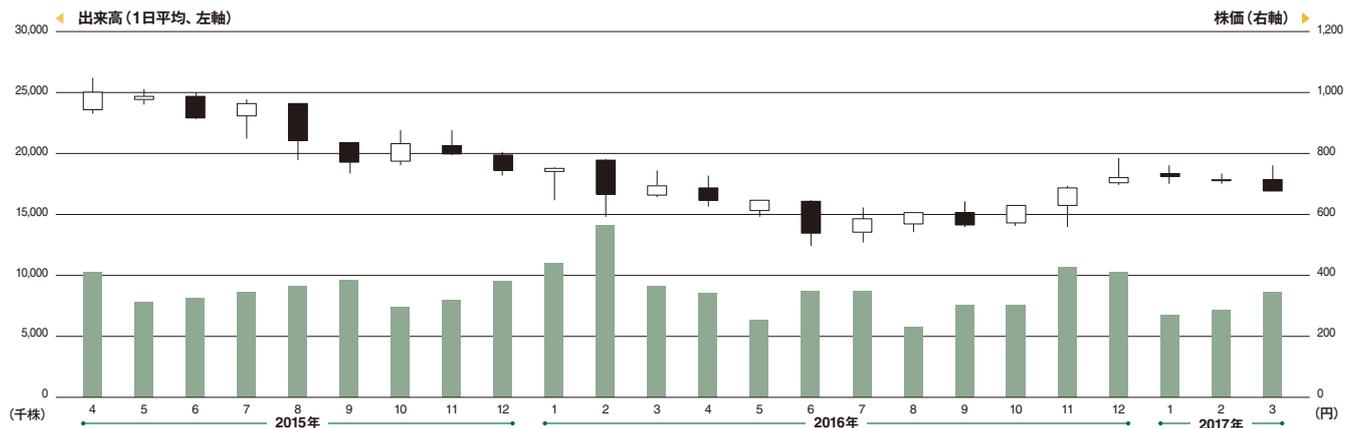
## ■ 会社概要 2017年4月1日現在

商号	株式会社大和証券グループ本社 英文：Daiwa Securities Group Inc.
証券コード	8601
所在地	〒100-6751 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 グラントウキョウ ノースタワー
電話	(03)5555-1111(代)
創業日	1902年5月1日
設立日	1943年12月27日
代表者	執行役社長 中田 誠司
資本金	2,473億円
事業内容	有価証券関連業務およびその遂行を支援する業務を営む国内および海外の子会社、関連会社の株式又は持分を所有することによる当該会社の支配・管理
ホームページ	http://www.daiwa-grp.jp/
IR室	(03)5555-1300
国内グループ会社	大和証券株式会社 大和証券投資信託委託株式会社 株式会社大和総研ホールディングス 大和住銀投信投資顧問株式会社 株式会社大和証券ビジネスセンター 大和プロパティ株式会社 株式会社大和ネクスト銀行 株式会社大和総研 株式会社大和総研ビジネス・イノベーション 大和企業投資株式会社 大和PIパートナーズ株式会社 大和証券エスエムビーシープリンシパル・インベストメンツ株式会社 大和リアル・エステート・アセット・マネジメント株式会社 大和証券オフィス投資法人

## ■ 東京証券取引所における当社株価 2016年4月1日～2017年3月31日

始値	高値	安値	終値	一日平均出来高
687.7	785.0	496.0	677.9	8,065千株

## ■ 株価および出来高の推移 2015年4月1日～2017年3月31日(東京証券取引所)



## ■ 株主数および株式数の状況 2017年3月31日現在

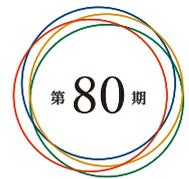
所有者区分	株主数(名)	株主数比率	株式数(千株)	株式数比率(カッコ内:2016年9月末)
個人	122,465	98.0%	384,510	22.6% (21.7%)
金融機関	192	0.2%	522,210	30.7% (28.7%)
国内法人	1,366	1.1%	66,163	3.9% (3.8%)
外国人	821	0.7%	637,170	37.5% (38.8%)
その他	67	0.1%	89,323	5.3% (7.0%)
合計	124,911	100.0%	1,699,378	100.0%(100.0%)

(注1) 株式数は千株未満を切捨てています。  
(注2) 株主数比率と株式数比率は小数第2位を四捨五入しています。  
(注3) 「その他」には、政府・地方公共団体、証券会社、自己名義株式が含まれます。

## ■ 大株主(上位10名) 2017年3月31日現在

株主名	持株数(持株比率)
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	95,819千株 (5.71%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	76,344千株 (4.55%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	66,873千株 (3.98%)
パークレイズ証券株式会社	34,000千株 (2.02%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	33,928千株 (2.02%)
太陽生命保険株式会社	31,140千株 (1.85%)
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	25,213千株 (1.50%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口2)	24,966千株 (1.48%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	24,920千株 (1.48%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社・三井住友信託退給口	24,888千株 (1.48%)

(注1) 持株数は千株未満を切捨てています。  
(注2) 持株比率は小数第3位を切捨てています。  
(注3) 持株比率は自己株式(22,136,669株)を控除して計算しております。



## コンタクトセンター

フリーダイヤル **0120-010101**

受付時間 平日 8:00~19:00 土・日・祝日 9:00~17:00

## ホームページ

<http://www.daiwa.jp/>

## 本店

03-5555-7555

### 北海道・東北地区

札幌支店	(011) 214-6111
釧路支店	(0154) 23-0161
青森支店	(017) 777-2111
盛岡支店	(019) 652-1171
仙台支店	(022) 221-5111
秋田支店	(018) 831-2811
山形支店	(023) 622-8151
福島支店	(024) 522-3111
郡山支店	(024) 932-3111
いわき支店	(0246) 23-0111

### 関東地区

水戸支店	(029) 226-9111
宇都宮支店	(028) 621-3531
高崎支店	(027) 327-7111
伊勢崎営業所	(027) 338-6120
大宮支店	(048) 642-3881
春日部営業所	(048) 642-3714
浦和支店	(048) 834-6111
川口支店	(048) 225-3611
所沢支店	(04) 2922-8111
花小金井営業所	(04) 2907-3510
千葉支店	(043) 227-8181
船橋支店	(047) 424-2111
松戸支店	(047) 366-5111
うすい支店	(043) 462-1009
柏支店	(04) 7166-2701
浦安営業所	(03) 4531-2120
日比谷支店	(03) 3508-8111
銀座支店	(03) 5250-8585
新宿支店	(03) 3352-5141
仙川営業所	(03) 4316-7500
新宿センタービル支店	(03) 3345-1661
上野支店	(03) 3832-0191
亀戸支店	(03) 3681-3181
市川営業所	(03) 3681-3304
新小岩営業所	(03) 4431-8380
五反田支店	(03) 3493-1211
武蔵小山営業所	(03) 4412-1080
自由が丘支店	(03) 3717-0141
学芸大学営業所	(03) 4487-4080
蒲田支店	(03) 3732-9171
大森支店	(03) 5471-3311
成城支店	(03) 3415-5211
経堂営業所	(03) 3415-4173
渋谷支店	(03) 3463-9211
用賀営業所	(03) 4323-8650
代々木上原営業所	(03) 4323-8630
三軒茶屋営業所	(03) 4323-8640
中野支店	(03) 5385-1311
池袋支店	(03) 3982-2141
成増営業所	(03) 4354-0280
池袋西口支店	(03) 3980-1005

赤羽支店	(03) 3903-0311
練馬支店	(03) 3992-0131
石神井公園営業所	(03) 6367-3220
千住支店	(03) 3879-6111
草加営業所	(03) 4434-2160
吉祥寺支店	(0422) 22-9311
永福町営業所	(0422) 57-3660
府中支店	(042) 354-7000
国立支店	(042) 571-0211
立川支店	(042) 526-1711
八王子支店	(042) 644-2211
多摩支店	(042) 375-5511
町田支店	(042) 722-2131
横浜支店	(045) 671-6700
横浜駅西口支店	(045) 311-1271
日吉営業所	(045) 614-6150
戸塚支店	(045) 864-1715
青葉台支店	(045) 983-8282
鷺沼営業所	(045) 517-9220
相模原支店	(042) 730-7000
川崎支店	(044) 244-2121
武蔵小杉営業所	(044) 577-2530
藤沢支店	(0466) 23-8111
鎌倉支店	(0467) 23-1616
厚木支店	(046) 224-8111
茅ヶ崎支店	(0467) 58-6111
横須賀支店	(046) 821-1800

### 中部・北陸地区

新潟支店	(025) 223-4101
長岡支店	(0258) 37-9001
富山支店	(076) 424-2411
高岡支店	(0766) 21-3500
金沢支店	(076) 262-4211
福井支店	(0776) 22-3311
甲府支店	(055) 222-0121
長野支店	(026) 227-6501
上田営業所	(026) 477-0115
松本支店	(0263) 35-0131
岐阜支店	(058) 265-2171
静岡支店	(054) 254-3151
浜松支店	(053) 454-1411
沼津支店	(055) 962-3590
名古屋支店	(052) 963-7111
鳴海営業所	(052) 728-1020
八事営業所	(052) 728-1000
名古屋駅前支店	(052) 571-3111
豊橋支店	(0532) 55-0011
岡崎支店	(0564) 24-6811
一宮支店	(0586) 71-6311
津支店	(059) 226-7111

### 近畿地区

彦根支店	(0749) 23-2111
京都支店	(075) 251-2111
伏見営業所	(075) 251-2160
大阪支店	(06) 6454-7778
梅田支店	(06) 6373-3311
北千里営業所	(06) 6373-3130
難波支店	(06) 6632-5151
京橋支店	(06) 6354-1201
香里園営業所	(06) 4967-4410
阿倍野支店	(06) 6624-0333
岸和田支店	(072) 423-3501
豊中支店	(06) 6854-1131
茨木支店	(072) 632-0651
堺支店	(072) 223-8850
神戸支店	(078) 392-7911
芦屋営業所	(078) 955-9710
姫路支店	(079) 223-2881
尼崎支店	(06) 6411-1481
明石支店	(078) 917-0001
西宮支店	(0798) 66-3500
奈良支店	(0742) 23-1271
和歌山支店	(073) 431-1131

### 中国地区

鳥取支店	(0857) 29-1511
松江支店	(0852) 27-7151
岡山支店	(086) 225-1111
広島支店	(082) 228-5211
福山支店	(084) 931-3333
下関支店	(083) 231-5151
徳山支店	(0834) 21-5601
山口営業所	(0834) 21-5670

### 四国地区

徳島支店	(088) 623-0131
高松支店	(087) 822-2222
松山支店	(089) 941-7101
新居浜支店	(0897) 33-5800
高知支店	(088) 823-0323

### 九州・沖縄地区

福岡支店	(092) 713-4007
北九州支店	(093) 531-1141
久留米支店	(0942) 33-2131
佐賀支店	(0952) 24-6121
長崎支店	(095) 823-0181
熊本支店	(096) 353-2551
大分支店	(097) 537-8111
宮崎支店	(0985) 29-5211
鹿児島支店	(099) 223-5141
那覇支店	(098) 861-5200

お客様  
相談  
センター

**03-5555-2222**

受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日、年末年始を除く)

「お客様相談センター」では、お客さまのご意見、ご要望、苦情などを専用電話にてお受けがたいしてまいります。お客さまからお寄せいただいた「声」に真摯に耳を傾け、その声を企業活動に活かし、サービスやお客さま満足度の向上に役立て、「お客さまから選ばれる証券会社」を目指します。  
なお、ご注文や株価・残高照会、商品の詳しいご説明、資産運用のご相談はお取引の窓口で承ります。

# 株主メモ

## ■ 株式についてのご案内

決算日	3月31日(年1回)
期末配当	3月31日
基準日*	中間配当 9月30日
	*剰余金の配当については、必要に応じ基準日を定めて実施することがございます。
定時株主総会	6月下旬(基準日3月31日)
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	フリーダイヤル 0120-782-031
公告掲載方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 公告掲載URL <a href="http://www.daiwa-grp.jp/ir/shareholders/">http://www.daiwa-grp.jp/ir/shareholders/</a>

## ■ 住所変更のお手続きについて

ご住所を変更された場合、株主名簿の変更手続きが必要となります。お手続きをお忘れになると、株主総会招集ご通知や配当金関係書類などをお届けできなくなりますので、ご注意ください。

## ■ 単元未満株式の買増し・買取りについて

当社では、単元未満株式に不足分を買増して単元株式数(1,000株)におまとめいただけるよう、単元未満株式の買増制度を採用しています。また、当社に買増請求をすることもできます。

なお、下記期間は原則として買増および買増請求の受付を停止していますので、ご注意ください。

買増請求の受付停止期間	毎年3月31日の前営業日から起算して10営業日前の日から3月31日までの間、および9月30日の前営業日から起算して10営業日前の日から9月30日までの間
買増請求の受付停止期間	毎年3月31日の前営業日から起算して3営業日前の日から3月31日までの間、および9月30日の前営業日から起算して3営業日前の日から9月30日までの間

具体的なお手続きに関するご照会はお取引先の証券会社等にお問合せください。なお、特別口座を開設された場合の買増および買増請求は下記の三井住友信託銀行の電話照会先(フリーダイヤル)までお問合せください。

用紙請求等その他のご照会

 0120-782-031

オペレーター対応：平日 9:00~17:00

インターネットホームページURL

<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

# 株主優待

申込締切日 **2017年7月31日(月)**

毎年、3月末と9月末の株主さまを対象に、年2回の株主優待を実施しております。

2017年3月末株主優待の対象は、2017年3月末の株主名簿に記録の1,000株以上保有されている株主さまです。2017年7月31日(月)までにお申込みください。



※ 優待品などの写真はイメージであり、実際の商品と異なる場合がございますのでご了承ください。

## ■ 保有株式数

1,000株~2,999株 保有の株主さま

3,000株~4,999株 保有の株主さま

5,000株~9,999株 保有の株主さま

10,000株以上 保有の株主さま

※ 詳しくは、株主優待品カタログをご覧ください。

## ■ 個人情報の取扱いについて

お申込みハガキにご記入いただいた電話番号は、株主優待以外の目的では使用いたしません。

株主優待に係る集計・発送業務等は、大和証券グループ本社と契約を結んだ子会社および第三者へ委託しております。

## ■ 株主優待品

株主優待品 (2,000円相当) カタログより1点

株主優待品 (2,000円相当) カタログより2点

株主優待品 (5,000円相当) カタログより1点

株主優待品 (5,000円相当) カタログより2点

壁掛けカレンダー

ご希望によりお届け

Webからのお申込み

お申込み専用サイト(詳しいお申込み方法は株主優待お申込み案内用紙をご覧ください)

<https://www.daiwa-grp-yutai.jp/>



## ■ 株主優待に関するお問合せ先(株主優待品カタログについて)

### 株主優待品



株主優待品カタログ事務局  
**0120-044-315**

平日10:00-17:00 8月10日~15日を除く  
※ 2017年10月31日で終了

### 「ダイワのポイントプログラム」交換ポイント

大和証券本・支店・営業所またはコンタクトセンター



**0120-010101**

平日8:00-19:00、土・日・祝日9:00-17:00



FSC認証の紙製品を使用することにより、より良い森林管理を支援しています。